

モバイルを使った
『クラウド型 自動車整備ツール』

LOSSO-9

LOTAS Smart OBD Kyushu

The Future By Ourselves

-未来を自分たちの手で-

2010年3月19日

ロータス九州株式会社



設立: 1975年1月
会員企業: 全国1,526社
(2010年3月1日現在)

中小整備業者がネットワークを組んで、
独自に勉強・研鑽し、より良いサービスを提供

ロータスクラブのサービス:

自動車整備、自動車販売、タイヤ・カーバッテリー販売、
自動車保険、ロードサービス(ロータス365サービス) など

全国のロータスクラブの車検台数

約130万台(2008年度)

→ 1社平均、約870台/年

<全国ネットワーク>



九州エリア(ブロック)で法人化

ロータス九州株式会社

代表取締役: 桑原 貞造

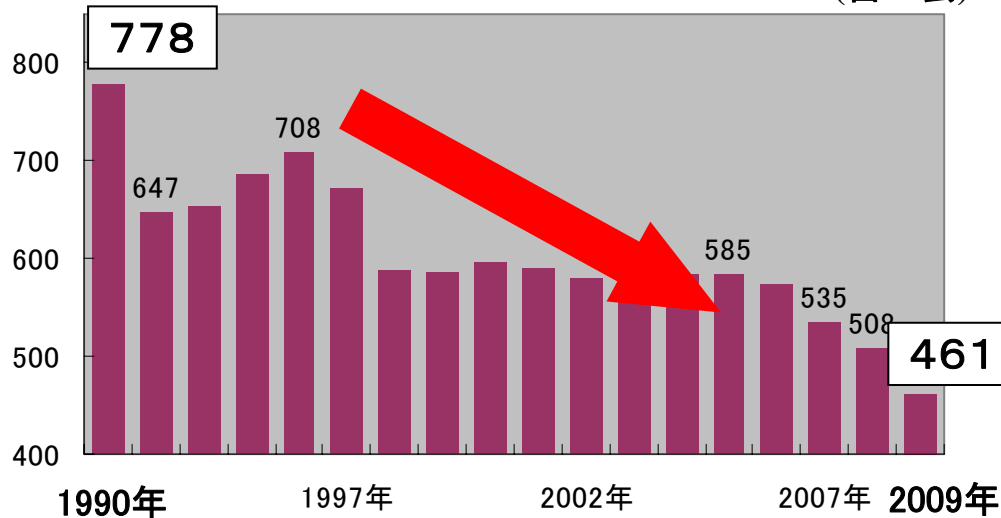
設立: 2007年6月

資本金: 326万円

本社: 福岡市

我々の抱える課題 整備市場の概況

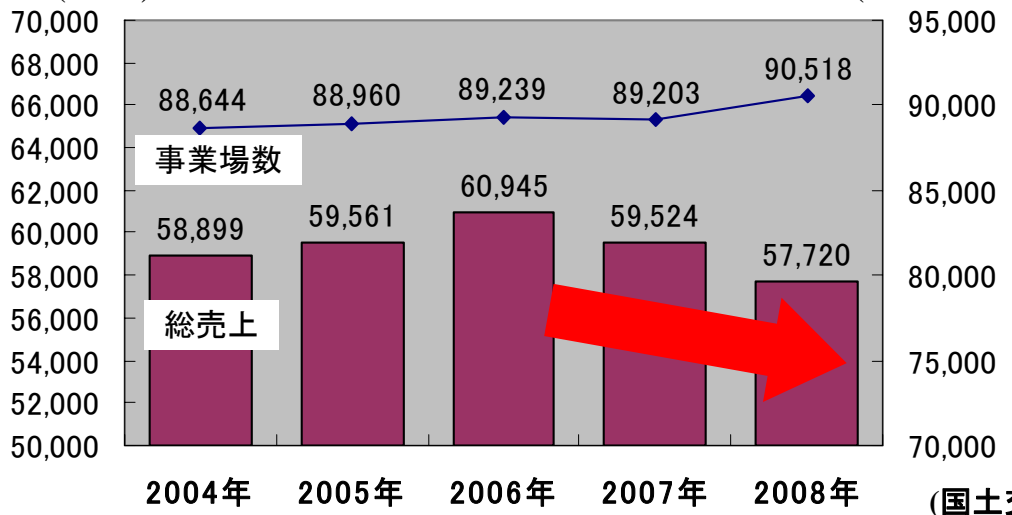
(万台) 国内新車販売台数(登録車+軽自動車) (自工会)



9.26 (乗用車平均使用年数:自検協) → 11.68

「新車販売台数はピークの780万台から40%以上減の460万台」
 「乗用車平均使用年数は1990年約9年から約12年へ」
 「6兆円の整備市場は減少傾向」
 「1995年から車検期間が延長」
 etc.

(億円) 整備市場の総売上及び事業場数 (事業場数)



整備市場の競争激化

安全・安心

環境
(エコ)

利便・快適

ITS
高度道路
交通システム

ASV
先進安全自動車

OBD-II
車載式故障診断
装置

ハイブリッドカー
電気自動車

カーナビゲーション
ドライブレコーダー
アルコールインター
ロック



1台のクルマに搭載するコンピュータ(ECU)は、リッターカークラスの大衆車で30~40個、一部の高級車では**100**個を超えています。

電子化するクルマへの対応は死活問題

環境OBD*(OBD-II)とは？

* OBD = Onboard Diagnosis System, 車載式故障診断装置

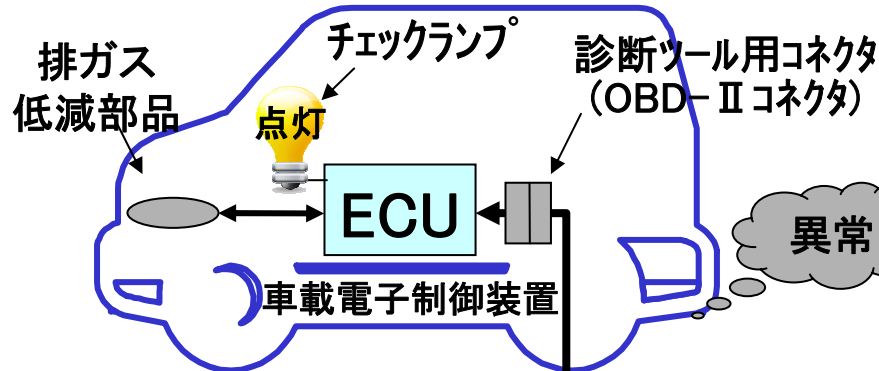
OBD-II =クルマが自己診断機能の装備が「義務化」。

対象：2008年10月から発売する国産新型車及び、2010年9月以降販売される全ての新車(輸入車含む)

異常検知

記憶保存

環境OBD(OBD-II)から
今後、安全OBDへ



クルマの環境維持と安全のために、
主に、クルマの排ガスシステムの
「異常を検知」して、ECUに「記憶保存」

故障診断ツール
(General Scan Tool)

整備事業者は、故障診断ツールを利用して
確実かつ迅速な修理の実施が期待されて
います。

適切な整備ツールの必要性

＜整備ツールの現状の課題＞

1. メーカー純正スキャンツールは手に入らない。そのメーカーだけ対応。
2. 汎用型は、新車発売後、解析するので対応が遅い。
3. 操作に時間がかかる、使い方が難しい。
4. 導入コストが高い。購入してもあまり使っていない。
5. 診断結果が残らない・共有できない。

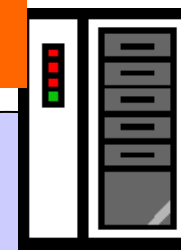


系列ごと

カンタン・便利
常に新しい

LOSSO-9

クラウド型へ
(世界初)



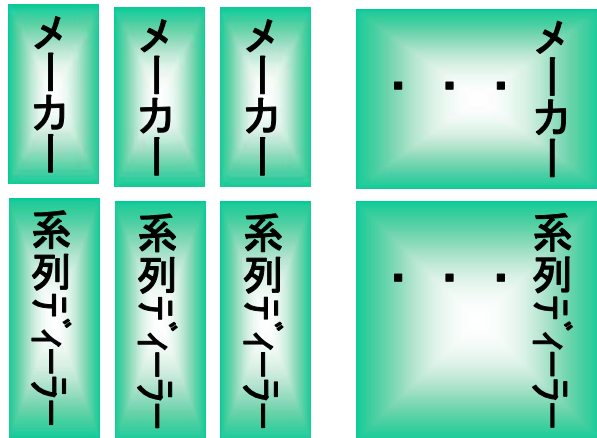
多メーカー・
多車種への対応

整備技術情報蓄積

LOSSO-9で拓くこれからの整備業界

現在の整備業界

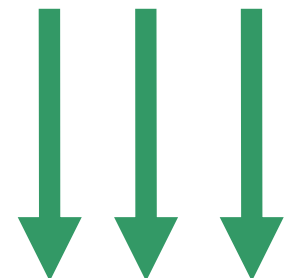
※ メーカー主導型



(整備情報・技術情報)

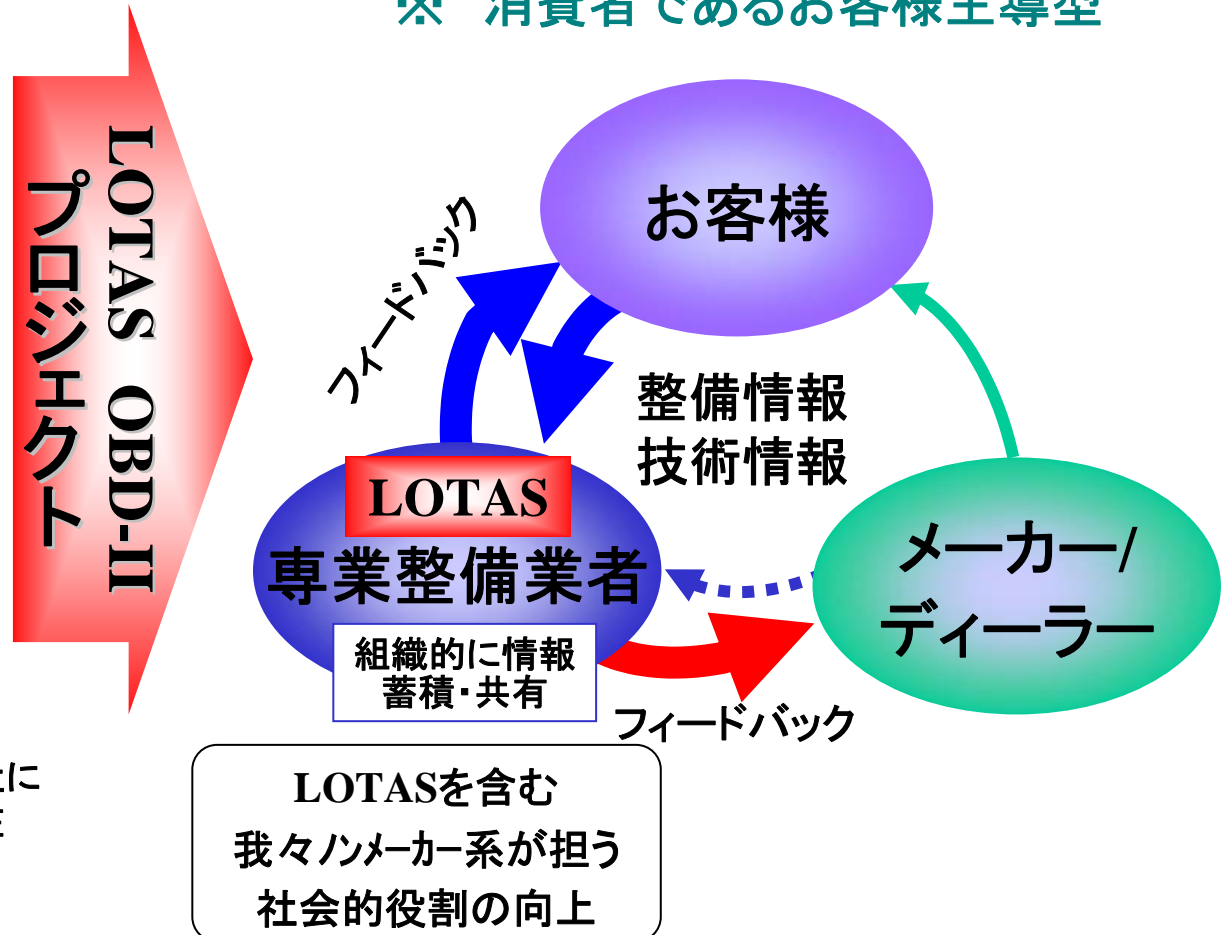


各社各社に
情報点在



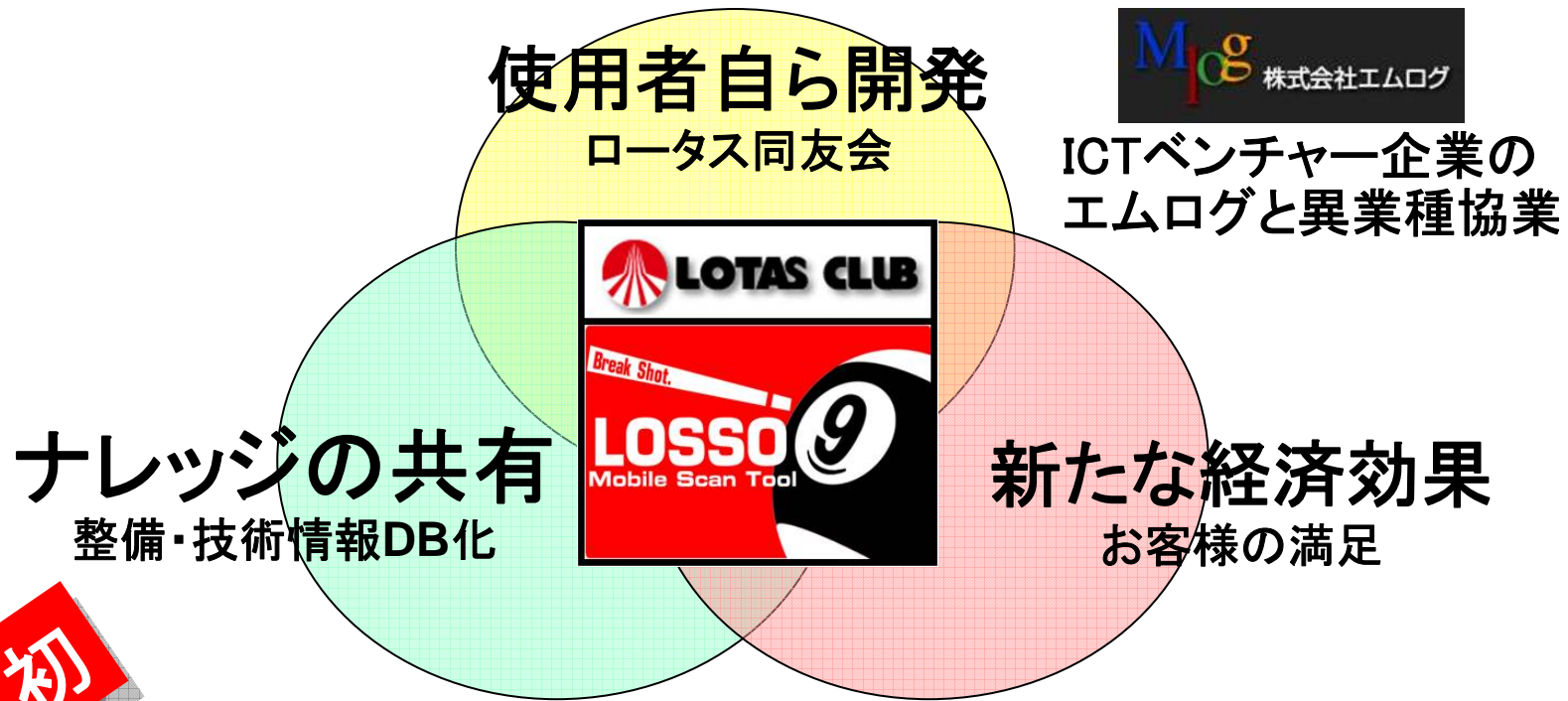
これからの整備業界

※ 消費者であるお客様主導型



お客様のクルマの安全・安心・環境維持のために、
自動車社会の整備・技術情報を循環型へ！！

- ☆ 整備ツールを自らの手で創りあげる
- ☆ データベース構築によるナレッジの共有
- ☆ 新たな付加価値創造



世界初

**ユーザー(整備事業者)自ら開発した
クラウド型、ナレッジ共有自動車整備ツール**

LOSSO-9の仕組み

<整備工場>

入庫→



<お客様の声>

ここまでわかるんですね！

すごいですね！初めて見ました。

これからの車検はここにします！



<導入前>

整備事業者

スキャンツールは
出来合いの製品

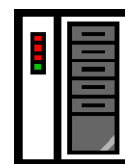
電子化するクルマの
対応に不安

メカニック個人の
技能に依存

故障してから
整備工場に入庫

スキャン結果は
フィードバックなし

お客様



<導入後>

整備事業者自らが
開発・進化させる

電子的にチェック、
見える化

全国で共有・蓄積

データに基づく整備・
予防整備提案

帳票で見える化

入庫する全てのクルマの安全・安心、環境維持に！
整備事業者に、整備業界に、お客様に、クルマ社会に！

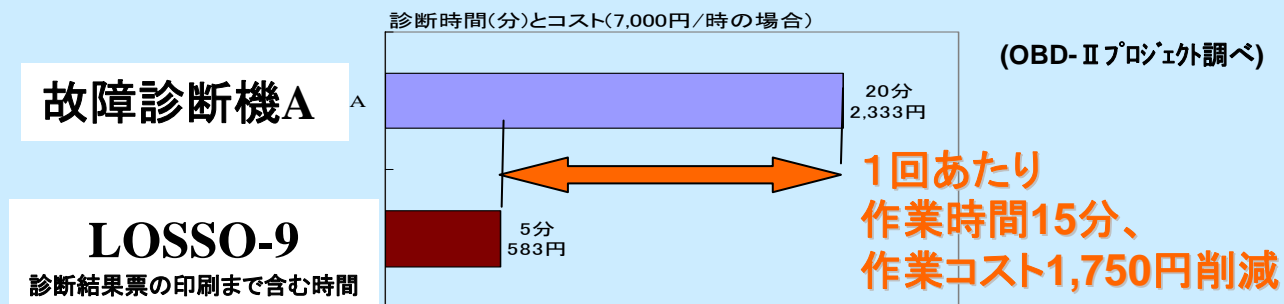
LOSSO-9は、効率化・削減だけのソリューションではありません。
全国のクルマ整備現場に新しい需要を創造します。

1. 導入コスト削減

導入費用 50~300万円 ⇒ 初期5万円+月額1.5万円

2. 運用コスト削減効果 ≒ 1.2億円 (2008年10月以降全国で7万件の診断)

エンジン/AT/ABS/エアバッグの4項目の読出し時間



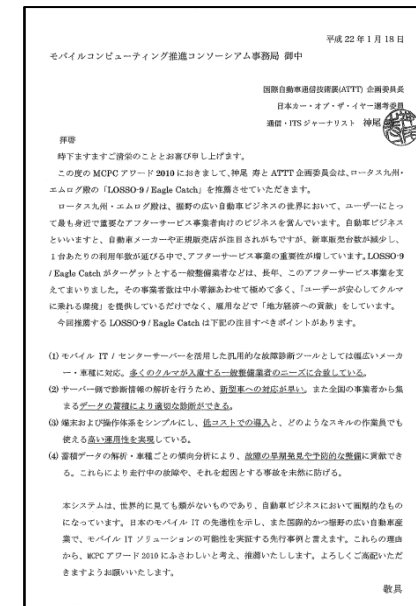
合せて
5億円

3. 新規売上増 ≒ 3.6億円 (導入済み600社の年間想定)

4. さらに将来は、コスト削減+新規売上+新市場 = 無限大

ATTTアワードとATTT企画委員会からのご推薦

第1回国際自動車通信技術展(ATTT) ビジネスイノベーション部門 優秀賞を受賞 (2009年10月20日)



今回のMCPC2010アワードのエントリーにおいて、
 通信・ITSジャーナリストカーオブザイヤー選考委員 **神尾 寿様**
 及び**ATTT企画委員会**より**ご推薦**いただきました。

LOSSO-9は、OBD情報を整備現場で活用することを手始めに、モバイルとクラウドを活用し、クルマ社会を変えるべく進化を続けます。

